

2023年4月1日

一般社団法人日本独文学会 2023年度事業計画書

一般社団法人日本独文学会は2023年度に次の事業を行うことを計画している。

1. 春季研究発表会および秋季研究発表会の開催
 - ・ 2023年6月3日および4日に、明治大学の担当で春季研究発表会を対面で開催する。
 - ・ 2023年10月14日および15日に、京都支部の担当で秋季研究発表会を対面で開催する。

2. 機関誌 „Neue Beiträge zur Germanistik“ の発行
 - ・ 165号（欧文誌，特集テーマは„Literatur/Geschichte“）を刊行する。
 - ・ 166号（和欧混合誌，特集テーマは「Perspektive/視点とドイツ語研究」）を刊行する。
 - ・ 2023年度下半期に刊行を予定している168号および2024年度上半期に刊行を予定している169号の原稿募集を開始する。
 - ・ 2023年度上半期に167号（欧文誌，特集テーマは„Sprachenlernen in Zeiten des Wandels – neue Perspektiven der DaF-Forschung in Japan“）を，2023年度下半期に168号（和欧混合誌）を，それぞれ編集・刊行する。
 - ・ 欧文誌については167号以降完全電子化し，冊子体を発行しない。このための刊行規程の改訂を行う。

3. 文化ゼミナール・語学ゼミナール・教授法ゼミナールの開催及びその記録論集の発行
 - ・ 第49回語学ゼミナール（実行委員長：宮下博幸）は，マインツ大学の Damaris Nübling 教授を招待講師とし，総合テーマ „Morphologischer Wandel im Deutschen: Entstehung und Funktion morphologischer Irregularität“ を掲げて，下記の通り実施する。
 - 期間：2023年8月28日（月）～8月31日（木）の4日間
 - 会場：近畿大学東大阪キャンパス
 - 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
 - また，語学ゼミナール論集第6号（2022年度実施分，招待講師：Josef Bayer 教授）を刊行する。
 - ・ 第63回ドイツ文化ゼミナールを2024年3月に開催する。
 - ・ 第28回教授法ゼミナールを2024年3月に開催する。

4. ドイツ語教員養成・研修講座の実施
 - ・ ドイツ語教育部会，東京ドイツ文化センターとの共催で開催している「ドイツ語教員養成・研修講座」の 2021-2023 年度期を 9 月に終了し、あらたに 10 月より 2023-2025 年度期を新規開講する。

5. 日本独文学会・DAAD 賞の授与
 - ・ 第 20 回日本独文学会・DAAD 賞（2021 年度刊行分）の授賞式を 2023 年 6 月 3 日に開催する。また，第 21 回日本独文学会・DAAD 賞（2022 年度刊行分）の選考を行う。

6. 日本独文学会研究叢書の発行（ウェブサイトによる電子出版）
 - ・ 日本独文学会研究叢書を学会 HP における電子出版の形で公開する。

7. その他のドイツ語，ドイツ文学及びドイツ語教育の研究及び普及に資する事業
 - ・ 「日本独文学会岩崎基金」を用いた若手研究者の研究成果公開のための出版助成を行う。
 - ・ ドイツ語論文執筆ワークショップを 11 月に開催する。

8. 法人運営に関すること
 - ・ 会員名簿（台帳）を更新する。また，更新されたデータに基づいて会員名簿（冊子）を編纂し，会員に配布する。ただし，冊子の構成は従来よりも簡素化する。